

第6回網走川河川整備計画検討会 議事要旨

日時：平成27年6月9日(火) 10:00～11:00

場所：網走市民会館 3階 大会議室

事務局から、網走川水系河川整備計画（原案）に寄せられたご意見及び網走川水系河川整備計画（原案）について説明を行い、以下のような議論が行われた。

■網走川水系河川整備計画（原案）について

委員：整備計画の対象期間が20年と長いため、産業活動や土地利用等の変化や、災害の発生などに応じてバランスのとれた計画の見直しが重要なので、開発局としても迅速に対応できるようにしてほしい。

委員：寄せられた意見に「樹木伐採は理解するが、環境に無配慮な伐採が行われている。」とあった。具体的に意見をお聴きしたり、意見交換をして今後の管理に活かしてほしいと思う。

外来種対策に関する意見もあった。モニタリングは河川水辺の国勢調査で行うことになると思うが、調査間隔が長いので、別の手段でも情報が得られるようにしてほしい。

委員：ウチダザリガニなどは繁殖力が強いので、前回の河川水辺の国勢調査時にいなかったが、今度の調査では凄く繁殖していたということが起きている。河川水辺の国勢調査データに加え、地元の活動から情報収集した上で、駆除などの対策を実施する仕組み作りを要望する。

委員：河川水辺の国勢調査でモニタリングをしているが、良い川をつくるためには手入れをすることが大事である。

委員：河川整備計画(原案)の直接の話ではありませんが、河川水辺の国勢調査の補完、それと外来種の拡大防止、侵入防止のご意見として承ります。

委員：いろいろな情報が大事になっている。整備計画は20年と非常に長いスパンの視野に立つものであるため、市民の方々の目が向いていることが大事である。

整備計画がもう少し分かり易く市民に伝わる努力と、毎日川を見ている市民が意見を出しやすい環境が、川を守る、利用していく環境作りに役立つと思う。

今後も、河川管理者、研究者、市民がアクティブに情報を交換できるような土壌の醸成に努めてほしい。

委員：河道の維持管理は、モニタリングの結果から順応的に行っていただきたいと思う。低水路内に土砂が堆積し樹木が繁茂して、流水の阻害になっている箇所が見られるため、適切にモニタリングし、樹木伐採などの管理をしてほしい。

委員：「流域一貫した管理」に関して、現在の河川法や行政機構では限界もあると思うが、網走川ならではの仕組み作りや、取り組みを進めてほしい。
また、事業を進めていく途中段階で、事業評価を繰り返し行い計画を見直していくことが非常に重要だと思う。是非、事業評価をする場を設けていただきたい。

委員：流域全体の流出抑制に関しては、寄せられた意見にもあったように関係機関との連携が重要になる。積極的に進めてほしい。

委員：整備計画(原案)57ページ(2)水質事故への対応では、「流域内に生息する魚類等の生態系のみならず」という文章の「魚類等の生態系」というのは変な言い方だと思うので、「魚介類等の水生生物のみならず水利用者にも多大な影響を与える」にしてはどうか。

委員：「魚類等の生態系」という文章はちょっと変なので、修正する方向で考えてほしい。

委員：今回の意見については事務局で検討し、最終的な取り扱いは委員長一任とさせていただきたいがよろしいか。

(異議なし)

委員：当検討会の役割は網走川水系河川整備計画の策定にあたり意見を述べるものであるが、これまでに6回にわたる検討会を通じ、皆様から貴重なご意見をいただき、その役割は一通り終えたと思われる。今回をもって議論を終えたいと思うがよろしいか。

(異議なし)

事務局：本日頂いた意見を踏まえ、整備計画(案)を作成し、北海道知事に意見照会を行う。その後、知事からの回答を受け整備計画を策定する予定である。

以上